

2018（平成30）事業年度

決算報告書

自：2018（平成30）年4月 1日

至：2019（平成31）年3月31日

国立大学法人横浜国立大学

平成 30 年度 決算報告書

国立大学法人横浜国立大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	8,241	8,414	173	注 1
施設整備費補助金	214	208	△5	注 2
補助金等収入	74	191	117	注 3
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	34	34	—	
自己収入	5,599	6,214	615	
授業料、入学料及び検定料収入	5,508	5,567	59	注 4
財産処分収入	—	105	105	注 5
雑収入	90	541	450	注 6
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,997	2,885	887	注 7
引当金取崩	—	3	3	注 8
目的積立金取崩	146	13	△133	注 9
計	16,307	17,965	1,658	
支出				
業務費	13,986	14,314	327	
教育研究経費	13,986	14,314	327	注 10
施設整備費	248	242	△5	注 11
補助金等	74	182	108	注 12
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,997	2,701	704	注 13
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	—	52	52	注 14
計	16,307	17,493	1,186	
収入－支出	—	472	472	

○予算と決算の差異について

- (注 1) 平成 30 年度退職手当及び年俸制導入促進費の追加配分による特殊要因運営費交付金 180 百万円の増、前年度特殊要因年俸制導入促進費繰越額に係る予算と実際の繰越金額の差異による 2 百万円の減、特殊要因 PCB 廃棄物処理費の翌年度以降への繰越のため 4 百万円減等の理由により、予算額に比して決算額は 173 百万円多額となっております。
- (注 2) 平成 30 年度当初予算の翌年度以降への繰越のため、予算額に比して決算額は 5 百万円少額となっております。
- (注 3) 予算段階では予定していなかった資金の獲得に努めたことによる 118 百万円の増等の理由により、予算額と比して決算額は 117 百万円多額となっております。
- (注 4) 授業料収入 20 百万円の増、入学料収入 25 百万円の増、検定料収入 13 百万円の増により、予算額に比して決算額は 59 百万円多額となっております。
- (注 5) 予算段階では予定していなかった土地売却収入により、予算額に比して決算額は 105 百万円多額となっております。
- (注 6) 科学研究費補助金等間接経費収入、財産貸付料収入、教員免許更新講習料収

入、有価証券受取利息収入等により、予算額に比して決算額は 450 百万円多額となっております。

- (注 7) 寄附金収入 102 百万円の増、受託研究収入 485 百万円の増、共同研究収入 251 百万円の増、受託・共同事業収入△59 百万円の減。一方、前年度以前の収入を財源として、受託研究収入 34 百万円の増、共同研究収入 62 百万円の増、受託・共同事業収入 10 百万円の増となり、予算額に比して決算額は合計 887 百万円多額となっております。
- (注 8) PCB 引当金 2 百万円の増等の理由により、予算額に比して決算額が 3 百万円多額となっております。
- (注 9) 平成 30 年度当初予算の翌年度以降への繰越のため、予算額に比して決算額は 133 百万円少額となっております。
- (注 10) (注 1) 及び、(注 4)、(注 5)、(注 6) に記した理由等により、予算額に比して決算額が 327 百万円多額となっております。
- (注 11) (注 2) に示した理由等により、予算額に比して決算額は 5 百万円少額となっております。
- (注 12) (注 3) に示した理由等により、予算額に比して決算額は 108 百万円多額となっております。
- (注 13) (注 7) に示した理由等により、予算額に比して決算額は 704 百万円多額となっております。
- (注 14) (注 5) に示した理由等により、納付金が発生したため予算額に比して決算額は 52 百万円多額となっております。